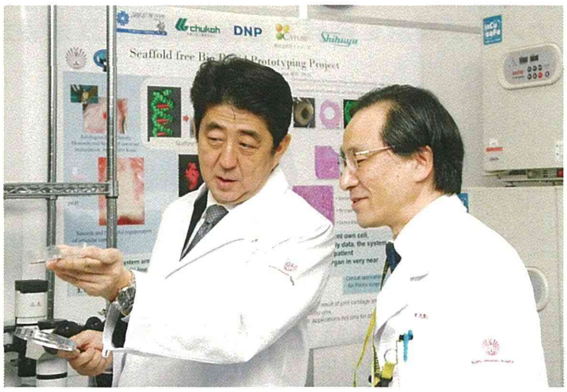
九州大学病院
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

インフォメーション

[2013.05.21]

安倍晋三内閣総理大臣が　九州大学を視察

平成25年 5月19日(日）、安倍晋三総理大臣が九州大学病院と医学研究院を視察のため訪れました。



共同実験室で田口教授の幹細胞の基礎実験を見学する安倍総理

視察を終えて記者団の質問に答える安倍総理

安倍総理は首相就任後18日、初めて九州入りし、大分県、佐賀県で各種施設を見学した後、19日午後、先端医療の現場視察として、九州大学病院を訪問。

有川総長、久保病院長、片野医学研究院長等の挨拶を受けた後、病院外来診療棟 5階会議室で石橋達朗眼科学教授、江頭健輔循環器病先端医療研究開発学教授、田口智章小児外科学教授のプレゼンテーションによる研究概要説明を受けました。

眼科領域の難病に対する遺伝子治療の日本で初めての臨床応用となった、石橋教授の「網膜色素変性症に対する遺伝子治療の臨床研究」についての説明後、江頭教授の「重症肺高血圧症治療用ナノ粒子製剤の実用化と臨床試験」の発表では、安倍総理自ら実験装置の前に立ち、日本発で世界で初めての心血管病治療用ナノ粒子製剤を手に取り確認しました。また田口教授は、腸が機能しない難病であるヒルシュスプルング病類縁疾患に対して、幹細胞を用いた新しい治療法の開発について紹介しました。

プレゼンテーション後は安倍総理と有川総長、久保病院長、 3人の研究発表者らは先端医療の研究現場の状況や、日本の社会と経済における難病の先端医療研究の重要性について、活発な意見交換を行いました。

首相は視察後の記者団に対するコメントの中で、大学の研究施設や医療現場などを見て、

日本が得意とする難病を中心とする医療・医学に対し、政府の政策として推進していく意気込みを話しました。

ナノ粒子製剤を確認する安倍総理と江頭教授

総理の質問に答える石橋教授（前列左端）と、久保病院長　（前列中央)、有川総長（前列右）、片野医学研究院長（前列右端）

その後、総理は視察の場をコラボステーションⅠの共同実験室に移し、先端機器の並ぶ田口教授（中山教授、山座講師）のラボで、乳歯由来の幹細胞を人工培養した細胞の塊をロボットで積み上げて立体構造をつくる基礎実験を見学しました。

Copyright (C) KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL. All Rights Reserved

九州大学病院
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
TEL:092-641-1151(代表)　092-642-5163(時間外受付)